

人間科学部の学生のみなさんへ

人間科学部では、多くの「専門教育科目」を用意しています。これらの科目1つ1つから、様々な専門的知識や技術を習得することができます。さらに、テーマを決めて科目を組み合わせることで「専門教育科目」の学びはより一層豊かなものになります。

「人間科学部の学びの手帳」では、「専門教育科目」の学びについて、26の履修モデルとして提案しています。この手帳を活用し、4年間の履修計画を具体的に描いてみてください。

自分の興味や関心を深めるため、あるいは将来の夢や希望に近づくために、人間科学部で何を学ぶとよいのか、どのような科目を履修すればよいのか、その答えを導いてくれるはずです。

東洋学園大学
人間科学部 教員一同

目次

手帳の使い方	3-4
--------------	-----

興味を広げ、深める学び

1. 人間科学を究める	5
2. 文学・芸術表現から人間を理解する	6
3. スポーツ科学を深く学ぶ	7
4. 犯罪・非行について考える	8
5. 児童虐待の問題について考える	9
6. 「共生社会」を生きる	10
7. 社会と自分の関係を考える	11
8. ストレスと上手に付き合うために～メンタルヘルス・マネジメント検定 (Ⅱ種・Ⅲ種)の取得を目指す～	12

将来に生きる学び

9. 地域で活躍できる人になる	13
10. 子どもにスポーツを指導したい	14
11. コミュニケーション能力を高めたい	15
12. 友達の相談にのるためのスキルを学びたい	16
13. 子どもの育ち、養育者の子育てをサポートしたい	17
14. メンタルもサポートできるスポーツトレーナーになりたい	18
15. 職場で人間科学の知識を活かす	19

資格・職業につなげる学び

16. 警察・消防官をめざす	20
17. 地方公務員をめざす	21
18. 保育士国家資格を取得したい	22
19. テニス指導員の資格を取りたい	23
20. 健康運動実践指導者の資格を取りたい	24
21. 児童指導員として児童養護施設で働く	25
22. 認定心理士の資格をとって就職に活かしたい	26
23. ピア・ヘルパー、教育カウンセラー補の資格をとって就職に活かしたい ..	27
24. 心理学検定の資格をとって就職に活かしたい	28
25. 臨床心理士をめざす	29
26. 国家資格：公認心理師をめざす	30

資格一覧表	31-32
-------------	-------

人間科学部のカリキュラム図(2019年度入学生)	33-34
--------------------------------	-------

手帳の使い方

- 📎 ここには 26 種類の人間科学部の「専門教育科目」を中心とした履修モデルが掲載されています。あなたが時間割を作成する際、これらの履修モデルを参考にするとよいでしょう。
- 📎 履修モデルは、1つだけ選ぶのではなく、自分の興味に合わせて複数のモデルを選んで組み合わせることもできます。
- 📎 たとえ1つのモデルを選択しても、そのモデルのすべてのおすすめ科目を取る必要はありません。必要に応じて、他の科目と入れ替え、自分に合ったモデルを作成してください。
- 📎 履修モデルには、学年と科目が組み合わせられて記載されていますが、その科目をその学年で取らなければならないわけではありません。2年生は1年生の科目を、3年生は1、2年生の科目を、4年生は全ての学年の科目を取ることができます（下の学年の科目を履修できます）。
- 📎 もし、履修モデルの中に気になる資格を見つけたら、資格取得要件についてシラバスで必ず確認をするようにしてください。

この手帳はあなたの4年間の学びをサポートします。
卒業まで大切に手元に置いておきましょう。

専門教育科目について

- ① 卒業には**124単位以上**の科目履修が必要です。そのうち、「専門教育科目」は、**78単位以上履修する必要があります**。
- ② 「専門教育科目」は、「専門基礎科目」「専門基幹科目」「専門展開科目」「専門ゼミ科目」の**4つの群で構成されています**。
- ③ 「専門基礎科目」は、**必修科目である「人間科学基礎演習 A・B」を含めて12単位以上履修する必要があります**。
- ④ 「専門ゼミ科目」は、**3、4年次でそれぞれ4単位(計8単位)を履修する必要があります**。**3年次と4年次のゼミは連続ゼミを履修しなければなりません**。
- ⑤ **4年次には、所属するゼミの担当教員の指導で、全員が卒業論文(4単位)を作成します**。
- ⑥ 「基本教育科目」**4単位までを「専門教育科目」の単位に含めることができます**。**また、「専門教育科目」4単位までを「基本教育科目」の単位に含めることができます**。
- ⑦ **また、グローバルコミュニケーション学部の「専門教育科目」及び現代経営学部の「専門展開科目」を担当の教員の許可を得て履修することが認められており、12単位までを人間科学部の「専門教育科目」に読み替えることができます**。

1. 人間科学を究める

モデルの説明

人間科学部の魅力は「人間（ひと）」について、さまざまな学問分野から幅広く学べることです。いろいろな科目をバランスよく履修して、「心」「身体」「社会」について多角的かつ総合的に学び、「人を支える人」として社会に貢献できる人材を目指そう。

おすすめ科目

1年	心理学概論 基礎心理学 人間学 東京学 スポーツ健康概論
2年	公共政策入門 地域共生社会論 トレーニング科学 スポーツ心理学 コーチング論 環境問題入門 子ども学 臨床心理学概論 知覚・認知心理学 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学） 心理学的支援法 ピアカウンセリング
3・4年	産業・組織心理学 教育・学校心理学 被害者学 世界の地域文化 レクリエーションの理論と実践 地域創造演習A・B ボランティア論 キャリア形成論 日本文化と心的世界 栄養学 スポーツマーケティング

2. 文学・芸術表現から人間を理解する

モデルの説明

昔から多くの文学やさまざまな芸術で人間は表現されてきました。文学や芸術表現という視点から人間というものへの理解を深めていきましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論 人間学 現代社会論 対人関係論 文学《教養基礎科目》
2年	家族社会学 地域文化論 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学） 家族心理学（社会・集団・家族心理学） ピアカウンセリング きずなとつながりの社会学 知覚・認知心理学
3・4年	産業・組織心理学 精神疾患とその治療 司法・犯罪心理学 教育・学校心理学 ボランティア論 社会福祉学 日本文化と心的世界

3. スポーツ科学を深く学ぶ

モデルの説明

スポーツ科学に関連する知識を深め、スポーツトレーナーや指導者に関する資格をたくさん取得したいという学生におすすめの科目です。

おすすめ科目

1年	スポーツ健康概論　スポーツ文化※ スポーツ1（バドミントン・テニス）《教養基礎科目》※ スポーツ2《教養基礎科目》 保健学《教養基礎科目》
2年	スポーツ3（テニス・集中）《教養基礎科目》※ 健康管理学※　体カトレーニング実習※ スポーツ生理学※　スポーツ医学（集中）※ スポーツバイオメカニクス※　スポーツ心理学※ トレーニング科学※　コーチング論※
3・4年	運動・スポーツ指導論※　運動・スポーツ指導の実践※ 栄養学※　レクリエーションの理論と実践※ スポーツマネジメント※　スポーツマーケティング※ スポーツカウンセリング※ ウォーキング・ジョギング※ 水泳（集中）※ エアロビックダンス※ 社会体育理論と実践※ 専門応用演習（スポーツ健康系のゼミ） 卒業研究演習（スポーツ健康系のゼミ）

※「スポーツリーダー」「ジュニアスポーツ指導員」「公認テニス指導員」「健康運動実践指導者」「スポーツプログラマー」に関連した科目

4. 犯罪・非行について考える

モデルの説明

犯罪・非行はなぜ起こるのだろうか？ 犯罪はどうしたら予防できるのだろうか？ 犯罪者が再び犯罪を犯さないようにするにはどうしたらよいのだろうか？ 犯罪の被害者を支援するために何ができるか？ 犯罪や非行、犯罪の加害者・被害者について、いろいろな角度から考えていきます。

おすすめ科目

1年	犯罪学入門 東京学 現代社会論 法学《教養基礎科目》 社会学《教養基礎科目》
2年	日本国憲法《教養基礎科目》 地域ではたらく（理論）・（実習） 人間科学総合講座 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学） 地域コミュニティ論入門 きずなとつながりの社会学 地域政策論
3・4年	現代社会とジェンダー《教養基礎科目》 社会安全政策論 被害者学 司法・犯罪心理学 関係行政論 地域創造演習 A・B 社会福祉学 ボランティア論 NPO 論 専門応用演習（犯罪学系のゼミ） 卒業研究演習（犯罪学系のゼミ）

5. 児童虐待の問題について考える

モデルの説明

平成 29 年度の児童相談所への児童虐待の相談件数は年間 13 万件を超えており、虐待によって命を落とす子どももいます。本モデルでは児童虐待について、社会福祉学、心理学、社会学、そして法学の視点から学び、多角的に理解することを目指します。さあ、自分に何ができるのか考えてみよう！

おすすめ科目

1 年	心理学概論 基礎心理学 犯罪学入門 現代社会論
2 年	臨床心理学概論 地域コミュニティ論入門 発達心理学 子ども学 心理学的支援法 家族社会学 地域共生社会論 児童家庭福祉 家族心理学（社会・集団・家族心理学） 人間科学総合講座 健康・医療心理学
3・4 年	福祉心理学 社会福祉学 関係行政論 精神疾患とその治療 司法・犯罪心理学 被害者学 障害者・障害児心理学

6. 「共生社会」を生きる

モデルの説明

私達は既に共生社会を生きています。さまざまな文化的背景を持った人々と共に暮らすことの課題とはどのようなものでしょうか。共生社会にはどんな可能性があるのでしょうか。社会を構成する1人として考えていきましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論 スポーツ文化 東京学
2年	公共政策入門 地域コミュニティ論入門 家族社会学 地域文化論 地域共生社会論 地方自治論 地域政策論 まちづくり論 環境問題入門 心理学研究法 心理学実験 健康管理学
3・4年	地域創造演習 A・B 行政学 公共政策論 社会安全政策論 NPO論 地域環境論 世界の地域文化 心理的アセスメント レクリエーションの理論と実践

7. 社会と自分の関係を考える

モデルの説明

人は必ず社会とのつながりを持って生きている。目には見えない社会とのつながりを多角的な視点から捉え、社会と自分との関係を考えてみよう。

おすすめ科目

1年	対人関係論 人間学 現代社会論 犯罪学入門 社会学《教養基礎科目》 世界の文化と地域社会《教養基礎科目》
2年	公共政策入門 地域コミュニティ論入門 きずなとつながりの社会学 家族社会学 地域文化論 地域共生社会論 地域ではたらく（理論）・（実習） リサーチ入門 環境問題入門 NGOと市民社会《グロコミ専門基幹科目》 ジェンダー論《グロコミ専門基幹科目》
3・4年	行政学 公共政策論 社会安全政策論 ボランティア論 社会福祉学 被害者学 NPO論 世界の地域文化 日本文化と心的世界 コミュニティ・リーダーシップ論 地域環境論 現代社会とジェンダー《教養基礎科目》

8. ストレスと上手に付き合うために

～メンタルヘルス・マネジメント検定(Ⅱ種・Ⅲ種)の取得を目指す～

モデルの説明

ストレスとうまく付き合うことで、人生を豊かに送っている人はたくさんいます。ストレスとうまく付き合うために、人間について多様な視点から幅広く学び、心理学をベースにさまざまな対処方法を身につけてみませんか。また、この履修モデルは、メンタルヘルス・マネジメント検定(Ⅱ種・Ⅲ種)の取得にも役立ちます。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学 スポーツ健康概論 対人関係論
2年	臨床心理学概論※ 知覚・認知心理学※ 心理学研究法※ 心理学実験※ 感情・人格心理学※ 発達心理学※ 心理学的支援法※ 社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)※ 家族心理学(社会・集団・家族心理学)※ 健康管理学 コーチング論 家族社会学 子どもの保健 きずなとつながりの社会学 人間科学総合講座
3・4年	神経・生理心理学※ 障害者・障害児心理学※ 心理的アセスメント※ 健康・医療心理学※ 福祉心理学※ 司法・犯罪心理学※ 産業・組織心理学※ 精神疾患とその治療※ スポーツカウンセリング 日本文化と心的世界 コミュニティ・リーダーシップ論 社会福祉学 被害者学 人体の構造と機能及び疾病※

※公認心理師受験資格を得るために必要な科目

9. 地域で活躍できる人になる

モデルの説明

地域の人びとと一緒に、地域を盛り上げたい。将来は自分の関心に沿ったNPOではたらかいたい。そんなあなたにおすすめの科目です。地域の中で身近な問題を発見し、解決の糸口を見つけていくための知識を身につけましょう。

おすすめ科目

1年	東京学 犯罪学入門 現代社会論
2年	公共政策入門 地域コミュニティ論入門 きずなとつながりの社会学 家族社会学 地域文化論 地域共生社会論 地域ではたらく（理論）・（実習） リサーチ入門 地方自治論 地域政策論 まちづくり論 環境問題入門
3・4年	地域創造実習 A・B コミュニティ・リーダーシップ論 行政学 公共政策論 ボランティア論 社会福祉学 被害者学 NPO論 地域環境論 社会安全政策論 専門応用演習（地域創造系のゼミ） 卒業研究演習（地域創造系のゼミ）

10. 子どもにスポーツを指導したい

モデルの説明

ジュニアスポーツ指導員の資格を取得し、子どもたちにスポーツを教える仕事に就きたいと考えている学生におすすめの科目です。

おすすめ科目

1年	スポーツ健康概論 スポーツ文化※ スポーツ1（バドミントン・テニス）《教養基礎科目》※ スポーツ2《教養基礎科目》 保健学《教養基礎科目》
2年	健康管理学※ スポーツ医学（集中） スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス※ スポーツ心理学※ トレーニング科学※ コーチング論※ 体カトレーニング実習 発達心理学 子どもの保健 子ども学 保育の心理学 保育の表現技術
3・4年	運動・スポーツ指導論※ 運動・スポーツ指導の実践 栄養学 レクリエーションの理論と実践※ スポーツマネジメント※ スポーツマーケティング※ スポーツカウンセリング※ ウォーキング・ジョギング 水泳（集中）※ エアロビクダンス 社会体育理論と実践※ 障害者・障害児心理学 NPO 論 専門応用演習（スポーツ健康系のゼミ） 卒業研究演習（スポーツ健康系のゼミ）

※「スポーツリーダー」「ジュニアスポーツ指導員」に関連した科目

11. コミュニケーション能力を高めたい

モデルの説明

相手の話していることをきちんと理解し、自分の考えを上手に伝え、他者との関係を円滑にするためのコミュニケーション能力を高めるためのモデルです。

おすすめ科目

1年	心理学概論 基礎心理学 対人関係論
2年	知覚・認知心理学 感情・人格心理学 発達心理学 子ども学 保育の表現技術 心理学的支援法 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学） 家族心理学（社会・集団・家族心理学） 児童家庭福祉 ピアカウンセリング
3・4年	産業・組織心理学 教育・学校心理学 司法・犯罪心理学 福祉心理学 社会福祉学 コミュニティ・リーダーシップ論 被害者学

12. 友達の相談にのるためのスキルを学びたい

モデルの説明

身近な友達や恋人、家族の相談にうまく応えて、問題の解決の手助けをしたい！そんなあなたにおすすめの科目をならべました。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学※ 対人関係論※
2年	臨床心理学概論※ ピアカウンセリング※ 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学）※ 心理学的支援法※ コーチング論 発達心理学※ 心理演習※ 心理学研究法※ 心理学実験※
3・4年	心理検査演習※ 精神疾患とその治療 スポーツカウンセリング 教育・学校心理学※ キャリア形成論 司法・犯罪心理学※ 被害者学 産業・組織心理学 レクリエーションの理論と実践

※「ピア・ヘルパー」「教育カウンセラー補」の資格取得に関連した科目

13. 子どもの育ち、養育者の子育てをサポートしたい

モデルの説明

子どもが好き。子どもに興味がある。子どもに関わる仕事をしたい。子育てに悩む養育者をサポートしたい。子育てを楽しめる親になりたい。そんなあなたにおすすめの科目です。子ども・家族についての専門的知識を深めましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論　スポーツ文化　犯罪学入門 児童英語教育入門《英コミ専門基礎科目》
2年	発達心理学　子ども学　保育の心理学 児童家庭福祉　子どもの保健　保育の表現技術 健康管理学　家族社会学　人間科学総合講座 家族心理学（社会・集団・家族心理学）
3・4年	福祉心理学 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学 社会福祉学 保育体験 被害者学 専門応用演習（発達心理学系のゼミ） 卒業研究演習（発達心理学系のゼミ）

14. メンタルもサポートできるスポーツトレーナーになりたい

モデルの説明

スポーツトレーナーに必要な健康運動実践指導者の資格を取得し、心理学の知識も身に付け、将来フィットネスクラブやスポーツに関連した企業に就職したいと考えている学生におすすめの科目です。

おすすめ科目

1年	心理学概論 基礎心理学 スポーツ1《教養基礎科目》 スポーツ2《教養基礎科目》
2年	スポーツ3（テニス・集中）《教養基礎科目》 健康管理学※ スポーツ医学（集中）※ スポーツ生理学※ スポーツバイオメカニクス※ スポーツ心理学※ トレーニング科学※ コーチング論 体カトレーニング実習※ 発達心理学 臨床心理学概論 心理学的支援法 健康・医療心理学 感情・人格心理学 ピアカウンセリング
3・4年	運動・スポーツ指導論※ 運動・スポーツ指導の実践※ 栄養学※ レクリエーションの理論と実践 スポーツカウンセリング スポーツマネジメント スポーツマーケティング ウォーキング・ジョギング※ 水泳（集中）※ エアロビックダンス※ 社会体育理論と実践 障害者・障害児心理学 心理的アセスメント 心理検査演習 専門応用演習（スポーツ健康系のゼミ） 卒業研究演習（スポーツ健康系のゼミ）

※「健康運動実践指導者」に関連した科目

15. 職場で人間科学の知識を活かす

モデルの説明

人間科学部の卒業生の進路は一般企業の割合が高くなっています。人間科学部で「人間（ひと）」について多角的・総合的に学ぶことで、卒業後に職場で貢献できる力を育みましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論 対人関係論 スポーツ健康概論 スポーツ文化 東京学 現代社会論
2年	臨床心理学概論 心理学統計法 健康管理学 公共政策入門 知覚・認知心理学 感情・人格心理学 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学） リサーチ入門 きずなとつながりの社会学 家族社会学 ピアカウンセリング 地域政策論 人間科学総合講座
3・4年	神経・生理心理学 産業・組織心理学 スポーツマーケティング 地域創造演習 A/B 社会福祉学 キャリア形成論 精神疾患とその治療 司法・犯罪心理学 日本文化と心的世界 ウォーキング・ジョギング 被害者学 地域環境論 世界の地域文化

16. 警察・消防官をめざす

モデルの説明

地域の人々の安心・安全を守りたい。地域の人々の役に立ちたい。そんな思いを持っている人、警察官・消防士を目指しませんか？警察官や消防士になるための専門性を身につけ、警察官・消防士として活躍したい皆さんにおすすめの科目を挙げてみました。

おすすめ科目

1年	東京学 現代社会論 犯罪学入門 政治と経済《教養基礎科目》 法学《教養基礎科目》 社会学《教養基礎科目》
2年	公共政策入門 地域コミュニティ論入門 きずなとつながりの社会学 地方自治論 地域政策論 まちづくり論 地域文化論 地域ではたらく（理論）・（実習） 環境問題入門 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学） 日本国憲法《教養基礎科目》
3・4年	行政学 公共政策論 コミュニティ・リーダーシップ論 地域創造演習 A・B 社会福祉学 ボランティア論 福祉心理学 社会安全政策論 関係行政論 被害者学 司法・犯罪心理学 専門応用演習（犯罪学系、都市政策系のゼミ） 卒業研究演習（犯罪学系、都市政策系のゼミ）

公務員講座の受講もおすすめです。一定の要件を満たすと、「セルフディベロップメント認定Ⅱ」の単位が認定されます。

17. 地方公務員をめざす

モデルの説明

地域で困っている人びとを助けたい。地域の暮らしをより良くしたい。地方自治体（市区町村）の公務員は、このような仕事を総合的に行います。地域についての専門性を身につけ、地方公務員として活躍したい皆さんにおすすめの科目を挙げてみました。

おすすめ科目

1年	東京学 現代社会論 政治と経済《教養基礎科目》 法学《教養基礎科目》 社会学《教養基礎科目》
2年	公共政策入門 地域コミュニティ論入門 きずなとつながりの社会学 地方自治論 地域政策論 まちづくり論 地域文化論 地域ではたらく（理論）・（実習） 環境問題入門 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学） 日本国憲法《教養基礎科目》
3・4年	行政学 公共政策論 コミュニティ・リーダーシップ論 地域創造演習 A・B 社会福祉学 ボランティア論 福祉心理学 NPO 論 産業・組織心理学 社会安全政策論 地域環境論 応用専門演習（都市政策系のゼミ） 卒業研究演習（都市政策系のゼミ）

公務員講座の受講もおすすめです。一定の要件を満たすと、「セルフディベロップメント認定Ⅱ」の単位が認定されます。

18. 保育士国家資格を取得したい

モデルの説明

保育士になりたい。保育士国家資格を取りたい。でも自主学習だけでは不安。これらの科目（特に※の付いた科目）と、エクステンションセンターの保育士講座は、保育士国家資格試験に挑戦したいあなたの学習を支援します。2年生の4月から受験可能なので、1年次からの学習がおすすめです。（ただし、在学2年間で62単位取得できないとその期間の合格科目は無効になります。）

おすすめ科目

1年	心理学概論 基礎心理学
2年	発達心理学※ 子ども学※ 児童家庭福祉※ 子どもの保健※ 保育の表現技術※ 保育の心理学※ 教育原理《英コミ専門基幹科目》※ 人間科学総合講座
3・4年	障害者・障害児心理学※ 社会福祉学※ 保育体験※ 栄養学※ 教育・学校心理学 レクリエーションの理論と実践 専門応用演習（発達心理学系のゼミ） 卒業研究演習（発達心理学系のゼミ）

※保育士国家試験支援科目

（ただし、これらの科目の受講で保育士国家資格が取得できるわけではないことに注意）

19. テニス指導員の資格を取りたい

モデルの説明

公認テニス指導員（日本スポーツ協会認定）の資格を取得し、卒業後テニスの指導員やフィットネスクラブに就職したいと考えている学生におすすめの科目です。

おすすめ科目

1年	スポーツ健康概論 スポーツ文化※ スポーツ1（バドミントン・テニス）《教養基礎科目》※ スポーツ2 《教養基礎科目》
2年	スポーツ3（テニス・集中）《教養基礎科目》※ 健康管理学※ テニスの指導理論※ スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス スポーツ心理学※ トレーニング科学※ コーチング論※ スポーツ医学（集中）※ 体カトレーニング実習 ピアカウンセリング
3・4年	運動・スポーツ指導論※ 運動・スポーツ指導の実践 栄養学 レクリエーションの理論と実践 スポーツマネジメント※ スポーツマーケティング※ スポーツカウンセリング※ ウォーキング・ジョギング 水泳（集中） エアロビックダンス 社会体育理論と実践 コミュニティ・リーダーシップ論 専門応用演習（スポーツ健康系のゼミ） 卒業研究演習（スポーツ健康系のゼミ）

※「スポーツリーダー」「公認テニス指導員」に関連した科目

20. 健康運動実践指導者の資格を取りたい

モデルの説明

フィットネスクラブインストラクターを目指す学生はもちろん、医療・福祉施設で健康運動を実践するために「健康運動実践指導者」の資格を取りたいという学生が必ず取らなくてはならない科目です。

おすすめ科目

1年	
2年	健康管理学※ スポーツ生理学※ スポーツバイオメカニクス※ トレーニング科学※ 体カトレーニング実習※ スポーツ医学（集中）※ スポーツ心理学※
3・4年	運動・スポーツ指導論※ 栄養学※ ウォーキング・ジョギング※ 水泳（集中）※ エアロビックダンス※ 運動・スポーツ指導の実践※

※健康運動実践指導者の資格を得るために必要な科目
また、「スポーツリーダー」「ジュニアスポーツ指導員」「公認テニス指導員」「スポーツプログラマー」にも関連した科目

21. 児童指導員として児童養護施設で働く

モデルの説明

児童指導員や社会福祉主事(※どちらも本学部を卒業後に児童福祉施設などに就職してから付与される任用資格)を取得して、さまざまな理由で親と生活できない子どもたちが暮らす児童養護施設のケアワーカーとして働く際に役立つ科目です。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学 対人関係論 社会学《教養基礎科目》※ 法学《教養基礎科目》※
2年	臨床心理学概論 発達心理学 心理学的支援法 子ども学 保育の心理学 家族社会学 児童家庭福祉※ 社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学) 家族心理学(社会・集団・家族心理学) 子どもの保健 保育の表現技術
3・4年	栄養学※ 人体の構造と機能及び疾病※ 福祉心理学 社会福祉学※ 障害者・障害児心理学 司法・犯罪心理学 心理的アセスメント レクリエーションの理論と実践

※「社会福祉主事」に関連した科目(3科目以上の履修が必要)

22. 認定心理士の資格をとって就職に活かしたい

モデルの説明

公益社団法人日本心理学会認定「心理学に関する専門的知識と技術を修得していることを証明できる資格」です。資格取得に必要な科目数は多いですが、「在学中に試験無し」で取得可能です。就職活動を見据えたときに、履歴書の資格欄に記入したり、面接で大学での学びをアピールする際にも役立ちます。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学※ 対人関係論※
2年	臨床心理学概論※ 心理学的支援法※ 心理学研究法※ 心理学実験※ 心理学統計法※ 知覚・認知心理学※ 感情・人格心理学※ 発達心理学※ 子ども学※ 保育の心理学※ 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学）※ 家族心理学（社会・集団・家族心理学）※ 健康・医療心理学※
3・4年	心理検査演習※ 心理的アセスメント※ 学習・言語心理学※ 神経・生理心理学※ 福祉心理学※ 障害者・障害児心理学※ 教育・学校心理学※ 司法・犯罪心理学※ 産業・組織心理学※

※「認定心理士」に関連した科目

23. ピア・ヘルパー、教育カウンセラー補の資格をとって就職に活かしたい

モデルの説明

日本教育カウンセラー協会認定「誰でも出会う身近な問題の相談相手として必要な専門的知識と技術を修得していることを証明する資格」です。協会の試験に合格する必要はありますが、必要な履修科目数は比較的少なく、在学中に取得可能です。就職活動を見据えたときに、履歴書の資格欄に記入したり、面接で大学での学びをアピールする際にも役立つでしょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学※ 対人関係論※
2年	ピアカウンセリング※ 臨床心理学概論※ 心理学的支援法※ 心理演習※ 心理学研究法※ 心理学実験※ 発達心理学※ 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学）※ 家族心理学（社会・集団・家族心理学）※
3・4年	心理検査演習※ 心理的アセスメント※ 福祉心理学※ 障害者・障害児心理学※ 教育・学校心理学※ 司法・犯罪心理学※

※「ピア・ヘルパー」「教育カウンセラー補」に関連した科目

24. 心理学検定の資格をとって就職に活かしたい

モデルの説明

日本心理学諸学会連合による「大学卒業レベルの心理学の基礎知識・能力の客観的到達度を認定する資格」です。毎年 8 月に実施される検定試験に合格すれば、1 年次から取得可能です。就職活動の際に大学での学びをアピールできる他、公認心理師を目指す場合は学修成果の目安としても役立ちます。

おすすめ科目

1 年	心理学概論※ 基礎心理学 対人関係論 心理学《教養基礎科目》
2 年	臨床心理学概論※ 心理学研究法※ 心理学統計法※ 心理学実験※ 知覚・認知心理学※ 感情・人格心理学※ 発達心理学※ 心理学的支援法※ 社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学）※ 家族心理学（社会・集団・家族心理学）※ 健康・医療心理学※ 心理演習※ こども学
3・4 年	学習・言語心理学※ 神経・生理心理学※ 障害者・障害児心理学※ 心理的アセスメント※ 福祉心理学※ 教育・学校心理学※ 司法・犯罪心理学※ 産業・組織心理学※ 精神疾患とその治療※ 社会福祉学 被害者学

※公認心理師受験資格を得るために必要な科目

25. 臨床心理士をめざす

モデルの説明

臨床心理士は指定大学院に進み、資格試験を受けて取得します。大学院の入試科目は臨床心理学とそれに関連した英語です。勉学としては他大学の心理学科と同等な心理学系科目の履修が必要ですが、特定の指定科目はありません。卒論を提出させる大学院もあるのでゼミと卒論は臨床心理学系をすすめます。

おすすめ科目

1年	心理学概論 対人関係論	基礎心理学
2年	心理学研究法 心理演習 心理学実験 心理学統計法 臨床心理学概論 臨床心理学研究1 ※ 臨床心理学研究2 ※	
3・4年	心理検査演習 心理的アセスメント 教育・学校心理学 精神疾患とその治療 司法・犯罪心理学 専門応用演習（臨床心理士有資格教員のゼミ） 卒業研究演習（臨床心理士有資格教員のゼミ）	

※臨床心理士指定大学院の受験支援科目

26. 国家資格:公認心理師をめざす

モデルの説明

公認心理師は心理職初の国家資格として誕生しました。4年間で規定52単位を履修した上で、大学院進学(2年)もしくは実務経験(2年以上)を経て受験資格が得られます。その後、国家試験に合格すれば資格が取得できます。将来、様々な人の話を聴き適切な支援を行うために、心理学のみならず、幅広い観点で人間を理解できる公認心理師を目指しましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学 犯罪学入門 対人関係論 人間学 現代社会論
2年	臨床心理学概論※ 心理学研究法※ 心理学統計法※ 心理学実験※ 知覚・認知心理学※ 感情・人格心理学※ 発達心理学※ 心理学的支援法※ 社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)※ 家族心理学(社会・集団・家族心理学)※ 健康・医療心理学※ 心理演習※ 健康管理学 コーチング論 家族社会学 地域コミュニティ論入門 地域共生社会論 子ども学 人間科学総合講座
3・4年	学習・言語心理学※ 神経・生理心理学※ 障害者・障害児心理学※ 心理的アセスメント※ 福祉心理学※ 教育・学校心理学※ 司法・犯罪心理学※ 産業・組織心理学※ 人体の構造と機能及び疾病※ 精神疾患とその治療※ 関係行政論※ 心理実習※ 公認心理師の職責※ 日本文化と心的世界 社会福祉学 被害者学 社会安全政策論 専門応用演習(臨床心理士・公認心理師有資格教員のゼミ) 卒業研究演習(臨床心理士・公認心理師有資格教員のゼミ)

※公認心理師受験資格を得るために必要な科目